

図を描いてみて、思い当たらなかった部分にスポットを当ててもらった気がした。自分の理解を深めていくことにつながった。読める、読みたくなる資料の作成はとても大切だと思った。

どこから図を作成したらよいか戸惑いがあったが、逆にそれが考えることにつながったと思った。箇条書きはよかれと思っていたが「ダメ」と言われ、今日、一番の発見でした。

自分の担当業務について、まだまだ分かっていない部分が多くあると感じた。後任者に業務を引き継ぐ際には、今日の研修を生かしたい。図を作っているうちに私が紙の端に追いやられていく気がする。私と私以外を結べつけるルートが1つではなく、書いていくうちにどんどん複雑になってしまう。(まるで私の頭の中)

日常業務では得がたい仕事をいただいた。近時の行政の資料はいわゆる「形だけのポンチ絵」が多い。

図解することで自分自身が整理でき、そうすることで改善点や新たなアイデアが生まれることを体験的に学ぶことができた。分かりやすい講義、演習だったので、質問はありません。

自分の仕事について、数字を交えた部分となると理解できていないと痛感した。工場(企業)と取引しているの、県民とかかわることがないのかなと思っていたが、工場(企業)の先に県民が関わっているということで、ハッとさせられた。図をつまくまとめるコツのようなものがあれば教えていただきたい。

図解思考力という聞き慣れない言葉だったが話を聞く内にとて興味もわき、大変になった。

図で整理すると頭の中が整理しやすかった。他者への説明も図があるとしやすい。

図で示すことによって、物事につながりを理解しやすくなり、記憶にも残りやすくなった。

全体のどこの位置で県民との関わりを意識することが、なかった。普段から自分が何をして、どういう目的のためにしているかを考えて実施する必要があると思った。全体的な本質の部分を書くことが苦手です。何かコツや普段に心がけることというものは、何かあるのでしょうか？

図で表現説明するととても分かりやすくなることに驚いた。日々の訓練が大切かなと思った。上手く作るにはどのような手段が良いか？やはり努めて日常の仕事で図を作ることが上達の近道でしょうか？仕事の能率向上のための、先生の著書のおすすめは？

図解を用いると、全体の中の位置づけが分かりやすくなった。簡単な図解が良いのか、複雑なものが良いのか、説明する相手により図を変えるものなのでしょうか？丸で囲む四角で囲むなどの視覚効果がより分かりやすくする方法などがあればご教示いただきたい。

図解するまでに時間がかかるが、短縮していく方法はあるか？見やすいレイアウトはどのような物か？全体と自分の立ち位置を再認識する必要があると改めて感じた。流行の取り入れも必要と感じた。

図解の大切さは良く分かったが、どのような場合にどう使うかといった事例を詳しく解説してほしい。関連づけながら図解で示していく、コツを掴んでいきたい。

先生の流暢な語り口と引きつける話題提供の仕方が上手であると思った。例題をたくさんやりたかった。先生はそれぞれの専門家の話などをすべて理解して図解されているのでしょうか？簡単な例(ケース)を教えてください。

俯瞰的に考えることができて良かった。図解コミュニケーションは有用だと思った。図でまとめる場合に関係性が幅狭する部分が多くあり表しきれない。図の見せ方のセンスや技術が必要なののでしょうか？

人によって図の書き方が異なるのは興味深いと思った。箇条書き→落書き→図解。。。図の表現のわかりやすさ。表現について学ぶ場があるのでしょうか。

一旦キーワード化して丸で囲ってみようと思った。大小や位置関係がさらに分かりやすくなりそう。図解に時間軸を盛り込む簡易な方法があれば教えて下さい。プレゼンテーションの場合、全体像からというお話があった。私はまず興味を持ってもらえる点からではないかと考えている。

自分の仕事が、全体の中でどう位置づけられるか、関係する数字でどういったものがあるか、を理解できていないことに気付いた。鳥瞰俯瞰で見るという話があったが、日々意識することで身に付いていく物でしょうか。

図解するとき出来るだけ言葉を少なく、まとめられるものはまとめて線を少なく心がけたが、線が多い方が「大変さ」が伝わることを知り、場合によっては使い分けしようと思う。明日までに「中山間」の意味を調べてきます。

図による思考の重要性が分かりやすかった。今回の研修は非常に参考になる。図を作る際のコツ。「伝える相手を上部に」というような、考えを整理するコツがあれば教えてほしい。作図のパターンのようなもの。

図解することは、自分の頭の整理や、人へ話すときの説明資料とすることには大変有効だと思った。図解すること自体が問題解決とはならないので、「住民とのディベートは不要、図解すれば解決できる。」とのご意見について疑問を持った。「カラーを用いるときは人を騙すとき」カラーの使い方を教えてください。会議や研修中の効果的なメモの取り方があれば教えてください。

自分の視野の狭さに気付いた。

文章では伝わりにくい事象も図解することで伝わり易くなり頭に残ることが分かった。業務の効率化につながると思う。練習を重ねれば上達すると思う。鳥の目虫の目を持つことが必要だと思った。

今まで箇条書きにしていることがあったが、それは考えていないことと同じことなのだと感じ入りました。図解の持つ情報量の多さが興味深かったです。人に分かりやすい「図解」にするためにはどのようなレイアウトにするとういでしょうか？「私の仕事における目的」から遡って「私の仕事」を図解していったがより良いやり方があったら教えてください。

今の仕事は何のためにしているのかを再確認することができ目意識がはっきりして良かった。

大いに刺激を受けた。本質を見抜く力を養うことが重要だと思っていたが、その具体的な手法、図解の技術を身につけることができたらどんなに素晴らしいことだろうかと思った。

2日間にわたる研修で、自ら作業を行って図を作成するところが斬新であった。また、次回の承認研修でも面白い講座が受講できたら良いと思う。ありがとうございました。

自分の仕事に対する考えの浅さを感じた。

環境学習などで子供相手に説明するときも図解は有効だと思った。

本当に頭を使ってクタクタになったという経験が無かった。作業を行うのに時間はかかるけれども、深く考える、関係性を考えるというツールとしての可能性に大変興味を持った。

図解により頭の中を整理し、「引き出し」を多く持っておけば、その図をイメージしながら話すことですっきりと相手に伝えることができるのではないかと感じた。

自分で考えるツールとしては間違いなく有効と思う。日記は、「一日一図」の練習に今日からやってみたい。

自分の仕事に向き合うことがこんなに疲れることとは思わなかった。こんごは出来る限り図解にチャレンジしてみます。

「中山間地域」の由来も説明できなかったことが恥ずかしかった。図解は大変疲れました。でも自分の仕事の位置が分かったので、新しい視点で仕事に取り組める気がします。

「考える」という漠然としていたものが「図解」というツールを用いることによりとっつきやすくなった。何か問題があった時には、是非このツールを使って考えていきたい。

図解することで自分の頭の中が強制的に整理されていくことに驚いた。

先生の視点、価値観から、少し不思議な印象を感じた。

今まで「何が分からないのかが分からない」という状況に困ることが多くありましたが、図解により「何が分からないのかは分かる」ようになるのではないかと感じました。業務の整理に非常に役立ちそうです。

図解することで、徐々に「考える」ことをした。

まずは新聞で毎日練習してからコツを掴んでいきたいと思う。

様々なことについて関係性を考えるようにしたいと思った。

自分で創造的な立案ができるのではという希望が持てた。どの分野にでも汎用できる「OS」を手にした気になれた。

今まで使ったことの無い脳の部分をハードに動かした気がします。自分のノートを見返してみると、本やHPの鵜呑みであることが良く分かった。図解化をコツコツ行い、技術を身につけて行きたいと思います。

図解すると頭が整理できるようになったと思った。図を描いて整理することに共感を持てた。

2日間通して自分の仕事の位置、影響範囲を確認することができ有意義であった。常に未完成であり修正を加えながら使っていこうと思う。

図解を深く学べたことはとても有り難かったです。2日間とても楽しかったです。ありがとうございました。

図解の練習を積み、今後の業務に生かしたいと思います。

日常的に図解を活用できるようになれば、合意形成がスムーズにできるようになるのではと感じた。

住民との合意形成に役立つツールだと思うので、是非実践していきたいと思います。小さなまとまりを書き留めて、試行錯誤して図に表すのが、イメージを図に落とし込みやすかったです。